

# 観賞用橙葉稲新品種「あかねあそび」の特性

前田一春・上村豊和・神田伸一郎・須藤弘毅・須藤 充

(青森県産業技術センター 農林総合研究所)

Characteristics of a New Ornamental Rice Variety with Orange Leaf “Akaneasobi”

Kazuharu MAEDA, Toyokazu UEMURA, Shinichiro KANDA, Koki SUTO and Mitsuru SUTO

(Agriculture Research Institute, Aomori Prefectural Industrial Technology Research Center)

## 1 はじめに

近年、葉色の異なる稲を利用した田んぼアートが注目を集め、全国各地で作られている。田んぼアートに利用される稲としては、在来品種で葉色が紫色の「短稈紫稲」、黄色の「黄色稲」、濃緑色の「観稲」などがあるが、青森県産業技術センターでは、これまでに、葉色が白色の「ゆきあそび」と赤色の「べにあそび」を育成し、田んぼアートの色彩の拡大に貢献してきた。今回、さらなる色彩拡大の要望に応え、黄色と紫色をミックスした葉色の観賞用稲の育成を目標に、葉色が橙色の「あかねあそび」を育成した。

## 2 育成経過

「あかねあそび」は、短稈で葉色が黄色と紫色をミックスした観賞用稲の育成を目標として、在来種で葉色が黄色の「黄色稲」を母、葉色が紫色の「短稈紫稲」を父とした交雑後代から育成された品種である。2000年に青森県農業試験場育種部（現 地方独立行政法人 青森県産業技術センター農林総合研究所 水稲品種開発部）において、人工交配を行った。同年冬期間にF<sub>1</sub>世代を、翌2001年にF<sub>2</sub>世代を温室で栽培し、2002年にF<sub>3</sub>世代をほ場において集団栽培した。2003年にF<sub>4</sub>世代で個体選抜を行い、2004年（F<sub>5</sub>世代）以降は、系統栽培により選抜と固定を図ってきた。2005年（F<sub>6</sub>世代）に生産力検定試験並びに特性検定試験に供試し、特性を把握したため試験を中止し種子を保存した。2009年（F<sub>7</sub>世代）に田んぼアートでの色彩拡大の要望に応じて

育成を再開し、再度生産力検定試験並びに特性検定試験に供試した結果、有望と認められたので、「青系観177号」の地方系統名を付した。2012年に、田んぼアートに積極的に取り組んでいる、青森県南津軽郡田舎館村において、田んぼアートでの試験栽培を行った結果、これまでにない橙色の稲として利用の要望があったことから、2013年5月に品種登録出願を申請し、同年8月に出願が公表された。

## 3 特性の概要

(1) 形態的・生態的特性(表1 2, 写真1~3)  
稈長は「極短稈」、穂長は「つがるロマン」より短く穂数は少なく、草型は「中間型」である。移植時の苗の葉色は、極淡い緑色で葉身の端が赤紫色又は赤銅色を呈する。生育の初期は、「つがるロマン」に比べ、草丈が短く、茎数は極少なく、葉色は新葉は黄緑色だが、次第に葉先から紫色がかすり状に入り赤紫色が広がる。生育中期以降になると、葉身基部は黄緑色で葉身は赤紫色又は赤銅色で葉先ほど色が濃い。出穂期頃から成熟期にかけては、赤紫色と黄緑色が混じり合い、遠目には橙色に見える。出穂期、成熟期は「つがるロマン」より20日程度遅く、育成地では「晩生」である。玄米の形状は極小粒・円形で粳種である。穂孕期の障害型耐冷性は「極弱」である。いもち病真性抵抗性遺伝子型は「+」と推定され、ほ場抵抗性は葉いもちは「やや弱」で、穂いもちは不明である。

### (2) 観賞用・景観用としての特性

葉色が赤紫色と黄緑色が混じり合い、遠目では橙色に見えることから、観賞用・景観用に向き、田んぼアート等では赤色、紫色、黄色とは異なる橙色と

して利用することが出来る（写真4）。見頃は、最高分けつ期～成熟期頃である。

栽培適地は、青森県内では全域である。播種量は、千粒重が軽いため、中苗の場合乾籾で50g/箱程度とする。いもち病抵抗性は弱いので、基本防除を徹底する。

#### 4 栽培適地及び栽培上の留意点

表1 形態的・生態的特性調査結果

品 種 名	移植時		葉身 の色	芒		ふ先色	穎色	玄米		糯粳 の別	耐冷 性	いもち病抵抗性		
	苗丈	葉色		多少	長短			形	大小			遺伝子型	葉	穂
あかねあそび	やや短	極淡 先端赤紫	赤紫色と黄 緑色が混	無	—	紫	紫	円	極小	粳	極弱	+	やや弱	不明
つがるロマン	中	中	緑	中	短	白	黄白	半円	やや小	粳	やや強	<i>Pia, i</i>	やや強	中
ゆきあそび	やや短	中	淡黄緑～白 色に緑縦縞	少	短	白	黄白	半円	小	粳	やや弱以下	不明	不明	不明
べにあそび	やや短	やや濃 一部紫色	濃桃	中	短	紫	赤淡紫	半円	やや小	糯	極弱	<i>Pia</i>	やや弱	やや弱

注) 品種登録出願の特性審査基準等による。ふ先色及び穎色は成熟期の色を示す。

表2 生育調査結果および葉色の見頃と見頃の色

品 種 名	出穂期 (月・日)	成熟期 (月・日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	玄米重 (kg/a)	千粒重 (g)	玄米品質 (1-9)	葉色の見頃・色	
									見頃	色
あかねあそび	8. 25	10. 9	61. 0	13. 0	286	17. 5	12. 4	8. 4	最高分けつ期～成熟期	橙
つがるロマン	8. 5	9. 18	85. 8	18. 6	393	64. 3	22. 7	4. 3	—	緑
ゆきあそび	8. 13	10. 1	40. 9	17. 7	257	14. 7	19. 6	6. 8	最高分けつ期～出穂期	白
べにあそび	8. 10	9. 22	60. 7	18. 9	352	31. 9	20. 7	7. 9	最高分けつ期～出穂期	赤

注) 2009～2012年の平均値。



写真1 生育初期



写真2 生育中期

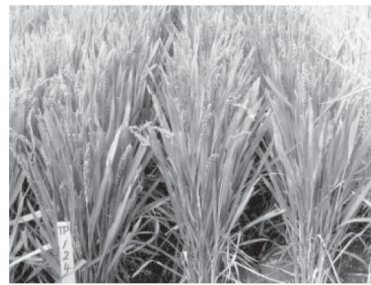


写真3 成熟期



写真4 平成24年度田舎館村田んぼアート  
(帯の部分などが「あかねあそび」)